

# 三矢の訓

令和4年6月29日 発行



いよいよ熱中症が怖い時期になってきました。先日も、保健だよりでお知らせいたしましたように、「帽子をかぶること」「水分補給をしっかりとすること」などの基本的な対策に加え、「マスクの着用については、熱中症対策を優先し、体育の授業や外遊び、登下校時には外す」という指導を行っています。

子どもたちの中には、マスク着用に慣れてしまったためか「マスクを外すと変な感じがする」という違和感を覚え、外しにくくなっている子どももいるようです。ご家庭でも「今は、熱中症対策が一番であること」を折に触れ、お話しいただきますよう、よろしくをお願いします。

## 小松原美里さん・尊(たける)さん 来校 6/27(月)

伊島小学校の卒業生で、北京オリンピックでフィギュアスケート(アイスダンス)に出場された小松原美里さん・尊さんペア(ご夫妻)が、お出でくださいました。

岡山市の「日本人オリンピック・パラリンピアン交流事業」で、母校の後輩である子どもたちと交流をしてくださるというものです。コロナ対応のために、交流は6年生に限定して体育館で行いました。5年生以下の児童には、ビデオ録画したものを給食時間などを使って見てもらう予定にしています。

美里さんは平成16年度卒業生。卒業アルバムには「スケートでオリンピックに出ると、夢を書いていらっしやいました。「自分のためにだけ(スケートを)するのだったら、途中であきらめていたかもしれない」「周りの人の支えがあったから、ここまで(がんばって)来られた」「いろいろな職業(の人の夢)がつながっている」「スケートで多くの人に笑顔を届けられることがやりがいだ」「少しずつの積み重ねが夢につながっている」と、感謝の気持ちや人とのつながりの大切さ、いろいろな仕事のかけがえのなさや夢を実現する生き方など、「夢は実現することができる」ことを身をもって示してくださるお二人の話は、6年生の児童にもしっかりと届いていました。



裏もあります

美里さんは伊島小学校時代に、学校の玄関近くの賞状やトロフィーを飾るガラス棚の中の「東京オリンピックのトーチ」を見て「いいなあ。いつかは・・・。」と夢をふくらませていたそうです。「私が家に飾るより（自分もそうだったように）子どもたちに見てもらった方がいい」と、ご自身の「北京オリンピック・トーチ」を、伊島小学校に預けてくださいました。ご来校の際には、ぜひご覧ください。とても美しいトーチです。



**なかよし池 大盛況 6/1 (水) 豊かな心**

毎年この時期は、なかよし池が大盛況です。（6月後半には、この写真よりも、もっと多くの子どもが集まっていた。）

池には、メダカやエビ、ヤゴなど、池の周りにはダンゴムシ、ワラジムシ（丸まらないのがワラジムシだそうです。子ども達に教えてもらいました。）など、子ども達の大好きな生き物が活動的になるこの時期、



なかよし池では楽しそうな声が響いています。キャッチ&リリースで、つかまえた生き物は、ちゃんと元の場所に帰してやる優しい心も育っています。



**あいさつ運動 6/10 (金) 安心して登校できる環境**

今年も、毎月10日は、あいさつの日です。PTAの方、岡山工業高校の生徒さん、安全安心ネットワークの方と、たくさんの人に声をかけていただいています。地域の人に見守られているという安心感は、なにものにも代えがたく、子どもたちの成長の支えとなっています。いつか大人になる子どもたちにとって、地域とつながるということは、ESD・SDGsの観点からも大切な心の素地を養う場面となっています。



**5年 環境学習 6/14 (火) ゲストティーチャーの充実**



今年も、岡山県地球温暖化防止活動推進センターの中平徹也さんに講師をお願いしました。

プラスチックゴミが、鳥やクジラの体の中から大量に見つかる画像を用いての話や、ビニール製の地球儀をすぼませたりふくらませたりしながらの地球資源枯渇の話など、子どもたちに分かりやすく環境問題について教えていただきました。ESD・SDGsは、特別なことではなく、電気をこまめに消す、賞味期限の近い物から買うことに協力するなど、身の回りのことから始められることがたくさんある、と実践的な内容も学習しました。